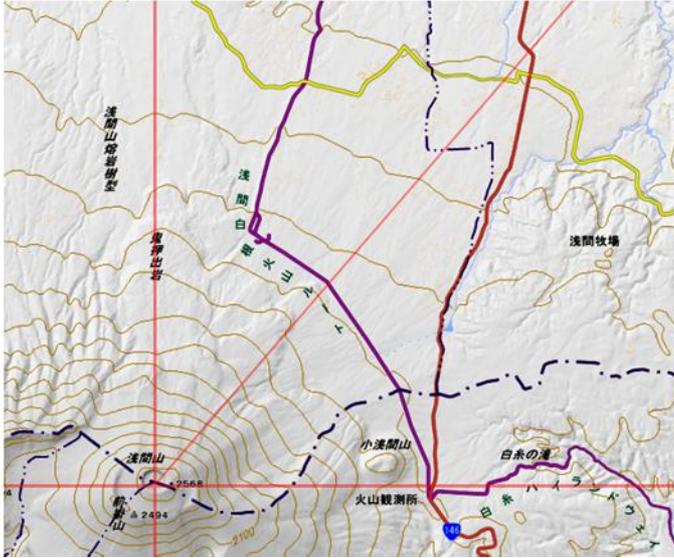


「浅間山と I S S」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

6月1日の国際宇宙ステーション(ISS)の日本列島上空通過は非常に条件が良く、沖縄から東北地方・北海道南部まで、広い範囲で観望可能だった。私は浅間山とISSを一緒に写真に撮ろうと思い、どこから狙ったらいいかを計算してみた。



当日の北軽井沢上空の通過予報では、20:12頃、方位角 226° (ほぼ南西)から出現し、20:15頃天頂付近を通過、20:17頃方位角 50° (ほぼ北西)に去る軌道だった。浅間山からISSが昇ってくるような写真

を撮るには、山頂から北東に延ばした線上で待機すれば良い。まずは、地図上でその地点を特定した。

幸いこの線上には、私がよく天体写真を撮影に行く牧草地や、道路沿いの南に開けた場所が含まれている。私は撮影の準備を整えて、20時前に線上の一地点に到着してISSの通過を待った。



しかし、当日の天候は曇り。しかも満月に近い月があつて、観望条件は最低だった。それでもほぼ天頂を通過したので、雲間からはっきり動く光軌を確認できた。写真のほうも、雲に阻まれて途切れとぎれながら、浅間の方向から天頂に向かう光軌をとらえていた。



浅間山と I S S

2015, -6, -1

20:12-20:14頃

固定撮影

ニコン D40

ISO400

18mm f=2.8

約3分露光

北軽井沢群高4

C. Tanaka